学校番号	1010

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術科	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy　of　MOUSIC（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を作ること」それぞれ特に研究したい分野を追及し、3 年間の集大成として卒業発表会を成功させましょう。
そのために表現することを大切に演奏しましょう。

2　学習の到達目標

芸術の幅広い活動を通して，生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，芸術 の諸能力を伸ばし，豊かな情操を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽を愛好し、音楽文化を尊重する態度を身に付けるとともに、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行いその喜びを味わおうとする。	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽の良さや美しさを深く感じ取り個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。	自己のイメージを持ち、個性豊かに充実した創造的な表現をするための技能を身に付ける	音楽文化に対する総合的な理解を深め、その良さや美しさを個性豊かに味わう。
評価方法	観察 ワークシート	観察 実技テスト ワークシート	演奏の聴取 実技テスト	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1クール 第2クール	歌唱	日本歌曲 「初恋」 外国曲 「sent nel core」 舞台音楽 「誰も寝てはならぬ」 ポップス「時代」 「島人の宝」	○	○	○		a:曲種に偏りなく関心をもって主体的に取り組んでいるか b:歌詞の内容をよく理解し背景等イメージして表現しているか c:曲種に合った発声法が身に付いているか	観察 ワークシート 実技テスト 発表
	器楽	リコーダー・ギターアンサンブル 「G 線上のアリア」 選択曲	○	○	○		a:アンサンブルをより美しい響きにするために意欲的であるか b:音楽を形作る要素を理解し各自の役割を果たした表現をしているか c:アンサンブルの響きを作りながら聴くことができるか	
第3クール	バンド演奏	選択曲	○	○	○	○	a:各自のパートを意欲的に取り組んでいるか b:調和を取りながら、個性豊かな表現をしているか c:各担当パートを演奏する技能が身に付いている d:様々な演奏の良さを感じることができるか	
第4クール 第5クール	卒業コンサートを成功させよう	卒業演奏会 個人 「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を研究すること」より各自得意な音楽活動で発表する グループ 数名のアンサンブル 全体合唱 全体合奏	○	○	○	○	a:卒業コンサートに向けて積極的、主体的に関わっているか b:自分の個性が一番出る音楽活動でいかに表現しているか c:それぞれの音楽活動を人前で発表するだけの技術や心構えが身に付いているか d：様々なスタイルの音楽のよさを感じ、音楽を構成している要素に気づくことができる	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。